

# 事務事業マネジメントシート(令和2年度実績と令和3年度計画)

令和3年12月22日更新

事務事業名		校舎等施設修繕事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連		<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連		<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合 計画 体系	政策	3 教育の健康					所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智				
	施策	9 義務教育の充実					所属課	学校教育課	担当者名	榮 峰男				
	施策の柱	36 義務教育施設の整備					所属班	総務施設班	(内線)	5314				
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	根拠							
		一般	10	1	2	10719	他							
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 2年度で終了		<input type="checkbox"/> 2年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	(開始年度	18	年度)	~ ( 年度)		
					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度									

## ★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	学校施設の維持向上のため修繕工事等を行う。毎年、不具合が生じている学校施設の復旧を行なっており、当然必要なものである。特別な変化はない。また、校舎の長寿命化を図るために、調査・設計・改修工事を行っていく。
【業務の流れ】	設計委託業者を決定後、学校の要望等を確認しながら実施設計を完成させる。その後、実施設計を基に工事発注を行い、修繕工事等を実施する。
【主な予算費目】	委託料、工事請負費、需用費
【意見や要望】	特ではない。

## 1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
【共通】市全小中学校の施設修繕等工事のため、学校施設点検、工事監督等に必要な公用車借上料、ガソリン代等を支出した。	市内小中学校の施設修繕工事等に関する事務を行う。
【小学校】合志南小防犯カメラ改修工事、西合志東小学校給食室トイレ改修工事が完了した。	令和3年度より校舎の長寿命化を図るために計画をたて設計及び改修工事を行っていく。
【中学校】合志中学校外屋根改修工事が完了した。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	予算の主な増減の理由
→ア工事件数	【共通】公用車購入の完了(R2)による事業費の減
イ	【小学校】前年度に比べ改修事業が小規模となったことによる事業費の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	【中学校】公共施設個別計画開始に伴う事業費の増
市内小中学校の施設、施設利用者。	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
適正な状態に復旧する。	【ア】学校数
学校施設の長期利用が出来るよう改修を行う。	イ
③成果指標(意図の達成度を表す指標)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
→ア修理を行なった学校数	【ア】修理を行なった学校数
市内12校の修繕等の工事を行い、適正な状態に復旧するため。	イ修理を行なった学校の復旧割合
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
	0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込
① 活動指標	ア 件	イ	件	16	13	9	22	15	15	15	15
② 対象指標	ア 校	イ	校	10	10	10	10	12	12	12	12
③ 成果指標	ア 校	イ %	校 %	10	10	10	10	12	12	12	12
				100	100	100	100	100	100	100	100
投 入 量	財 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他	千円				1,000		187,272	176,958	253,661
			千円								
		31,900	千円	78,400	8,000	1,400	5,100	353,389	398,689	524,022	
			千円		11						
			千円								
人 件 費	繰入金 一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円	54,256	99,112	18,115	14,629	26,977	658,828	708,541	952,462	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	116	116	116	
人 件 費	正規職員従事人数	人	4	4	4	3	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	2,640	3,939	3,900	3,278	3,900	3,900	3,900	3,900	
	(B)人件費計	千円	10,406	15,610	15,537	12,925	15,537	15,537	15,537	15,537	
トータルコスト(A)+(B)			千円	64,662	114,722	33,652	27,554	42,514	674,365	724,078	967,999

事務事業名	校舎等施設修繕事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-----------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (C H E C K)

\*原則は 2年度の事後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒ 【原因 ↗】		
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策 ↗】		
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒ 【理由 ↗】	実施設計を行なっているため、現状維持が妥当である。	
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由 ↗】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由 ↗】	適正な規格や品質があり、それらを実施設計の中に反映している。	
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由 ↗】	最小の人員で対応しているため、削減余地はない。	
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒ 【理由 ↗】	学校は公共施設であり、施設の安全確保は当然の義務である。	
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒ 【理由 ↗】	専門性の高い業務であるため、適正である。	

## 3 評価結果の総括 (C H E C K)

施工業者を決定し、市内小中学校の修繕等の工事を行うことができた。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

### (1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）  
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）  
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

### (2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持	○	△
	低下	△	△

### (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策